

第19回 環境法政策学会

Japan Association for Environmental Law and Policy

2015年6月13日(土) 獨協大学(埼玉県草加市学園町1-1)

プログラム

- 9:30~12:00 分科会<個別報告> (報告20分、コメント5分、質疑5分、準備・休憩5分)
- 第一分科会 東棟4階 E-416教室
 - 第二分科会 東棟3階 E-308教室
 - 第三分科会 東棟3階 E-306教室
 - 第四分科会 東棟3階 E-304教室 (報告多数のため休憩なし)
 - 第五分科会 東棟3階 E-302教室
 - 第六分科会 東棟3階 E-309教室
- 12:00~13:00 理事会 (天野貞祐記念館 3階 A-306教室)
- 13:00~13:30 会員総会 (天野貞祐記念館 3階 大講堂)
- シンポジウム「化学物質の管理」 (天野貞祐記念館 3階 大講堂)
- 13:30~13:40 <挨拶> 開催校
- 13:40~15:50 <第1部 報告>
- 15:50~16:10 休憩
- 16:10~17:50 <第2部 パネルディスカッション>
- 18:00~ 懇親会 (東棟5階 ラウンジ)
※会費 5,000円 当日お支払いください~

[注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。
獨協大学開催校事務局 一之瀬高博 *メール: jaelp2015@dokkyo.ac.jp
- 3 会員外の方とご参加される場合には、ご参加される会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡ください。事務局: kankyo@shojihomu.or.jp

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2015年6月27日(土) 13:00~18:15

場所: 立教大学池袋キャンパス(豊島区西池袋3-34-1) 14号館D501教室

テーマ: 「津波被災地域の多角的復興を考える—5年目の課題と展望」

※詳細は別添のパフレット参照

環境法政策学会 第19回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

第一分科会 地球温暖化・エネルギー〔東棟4階 E-416教室 司会者：亙理 格（中央大学）〕

①気候難民の法的地位と保護枠組みのあり方

（報告者：木村ひとみ（大妻女子大学）／コメンテーター：久保田 泉（国立環境研究所））

②日独気候エネルギー政策転換とアクターの理念

（渡邊理絵（新潟県立大学）／岡村りら（獨協大学））

③陸上・洋上風力発電所の立地・開発をめぐる紛争と法：イギリス法との比較を通じて

（洞澤秀雄（南山大学）／千葉恒久（弁護士））

④地域（市等自治体）における再生可能エネルギー法政策・法施策（条例政策・条例施策）に関する提案

（戸田博之（元・大阪府庁職員）／亙理 格（中央大学））

第二分科会 廃棄物・リサイクル〔東棟3階 E-308教室 司会者：下井康史（千葉大学）〕

①ペットボトルの専ら物化について

（堀口昌澄（アマタ株式会社）／織 朱實（上智大学））

②プロダクト・スチュワードシップと協定制：廃棄物問題の有効な解決策？—ブラジル、オーストラリア、シンガポールを事例として—

（チアゴ・トレンチネラ（大阪大学大学院）／勢一智子（西南学院大学））

③EU 廃棄物政策から製品政策へ～改正廃棄物枠組指令における「廃棄物終了」「副産物」定義の意義

（織 朱實（上智大学）／奥 真美（首都大学東京））

④自治体における産業廃棄物税の法政策上の分析と今後の展望について

（小清水宏如（環境政策ネットワーク）／下井康史（千葉大学））

第三分科会 化学物質・リスク〔東棟3階 E-306教室 司会者：桑原勇進（上智大学）〕

①フランスにおける内分泌かく乱物質の規制について

（川上ようこ（フランス・トゥールーズ第1大学）／増沢陽子（名古屋大学））

②リスクトレードオフを考えると予防原則は矛盾か

（藤岡典夫（農林水産政策研究所）／小山佳枝（中京大学））

③米国 Toxic Substances Control Law (TSCA)成立の歴史、最近の改正動向、日本の化審法との比較、両者の今後の課題

（大島輝夫（化学品安全管理研究所）／赤渕芳宏（名古屋大学））

④行政措置を活用した大気汚染防止法と水質汚濁防止法の有害物質規制システムとそれぞれの特色

—環境汚染防止法のパラダイム変化の萌芽—

（小幡雅男（神奈川大学）／桑原勇進（上智大学））

第四分科会 生物多様性〔東棟3階 E-304教室 司会者：磯崎博司（上智大学）〕

①鳥獣保護及び管理に関する一考察—住民参加及び野生鳥獣管理の制度設計を中心として

（神山智美（富山大学）／磯崎博司（上智大学））

②名古屋議定書と他の国際文書との相互関係～植物の新品種の保護に関する国際条約（UPOV条約）を素材にして～

（小林邦彦（名古屋大学大学院）／菌 巳晴（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング））

③医薬伝統的知識の保護と生物多様性条約—中国の学者の主張の整理と分析

（何 劼（西南学院大学大学院）／古川 勉（東京都市大学））

④ラムサール条約における非政府組織の役割—第四次戦略計画の効果的な実施に向けて—

（鈴木詩衣菜（上智大学大学院）／加藤峰夫（横浜国立大学））

⑤日本における生物多様性オフセット制度の導入に向けた課題

（久保田 泉（国立環境研究所）／及川敬貴（横浜国立大学））

第五分科会 外国環境法／原子力〔東棟3階 E-302教室 司会者：柳 憲一郎（明治大学）〕

①EU 大気質指令—イギリス最高裁判所判決と EU 司法裁判所先決裁定—

（兼平裕子（愛媛大学）／中西優美子（一橋大学））

②米国における基地環境汚染と国防総省・米軍による浄化活動

(鈴木 滋(法政大学大学院)／柳 憲一郎(明治大学))

③原子力リスクと原子力安全規制 (斉藤照夫(損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント)／下山憲治(名古屋大学))

④英国の核災害時緊急事態対応体制 (進藤真人(京都大学)／黒川哲志(早稲田大学))

第六分科会 企画セッション及び個別報告〔東棟3階 E-309教室 司会者：堀口健夫(上智大学)〕

＜企画セッション：「南極海調査捕鯨事件」の国際司法裁判所(ICJ)判決と国際捕鯨取締委員会(IWC)一法学と政治学との対話＞

①南極海捕鯨事件：訴訟経緯にみる豪州勝訴の要因に関する検討 (真田康弘(法政大学))

②「南極海調査捕鯨事件」国際司法裁判所(ICJ)判決の「政策志向性」とその含意 (児矢野マリ(北海道大学))

③国際法学と国際政治学との対話の契機としての捕鯨裁判：既存研究のレビューを題材に (石井 敦(東北大学))

＜個別報告＞

④東アジアにおける越境大気汚染物質と外交の考え方—PM2.5問題を軸に (岡本哲明(東北大学))

※共著者：石井敦(東北大学)、米本昌平(東京大学)、沖村理史(島根県立大学)、児矢野マリ(北海道大学)、大久保彩子(東海大学)、堀口健夫(上智大学)、岡本哲明(東北大学)

=====
シンポジウム (天野貞祐記念館 3階 大講堂)

「化学物質の管理」

☆第1部 報告☆ 司会：奥田進一(拓殖大学)、岡松暁子(法政大学)

○13:40～14:10 総括報告：日本における化学物質規制の到達点と課題 (化学物質審査法、PCB廃棄物含む) 増沢陽子(名古屋大学)

○14:10～14:30 石綿被害の防止と救済 松本和彦(大阪大学)

○14:30～14:50 水銀条約 高村ゆかり(名古屋大学)

○14:50～15:10 水銀条約の国内対応 大塚 直(早稲田大学)

○15:10～15:30 化学物質の表示を巡る問題 前田定孝(三重大学)

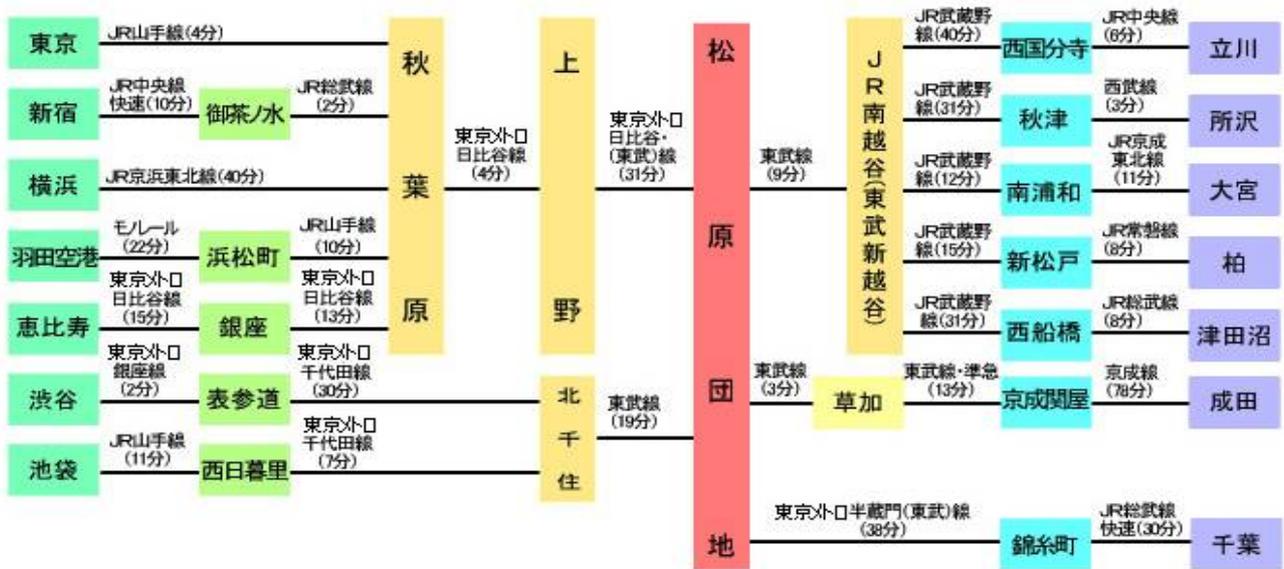
○15:30～15:50 コメント 山田 洋(一橋大学)・赤渕芳宏(名古屋大学)

◆15:50～16:10 —— 休憩(質問票回収) ——

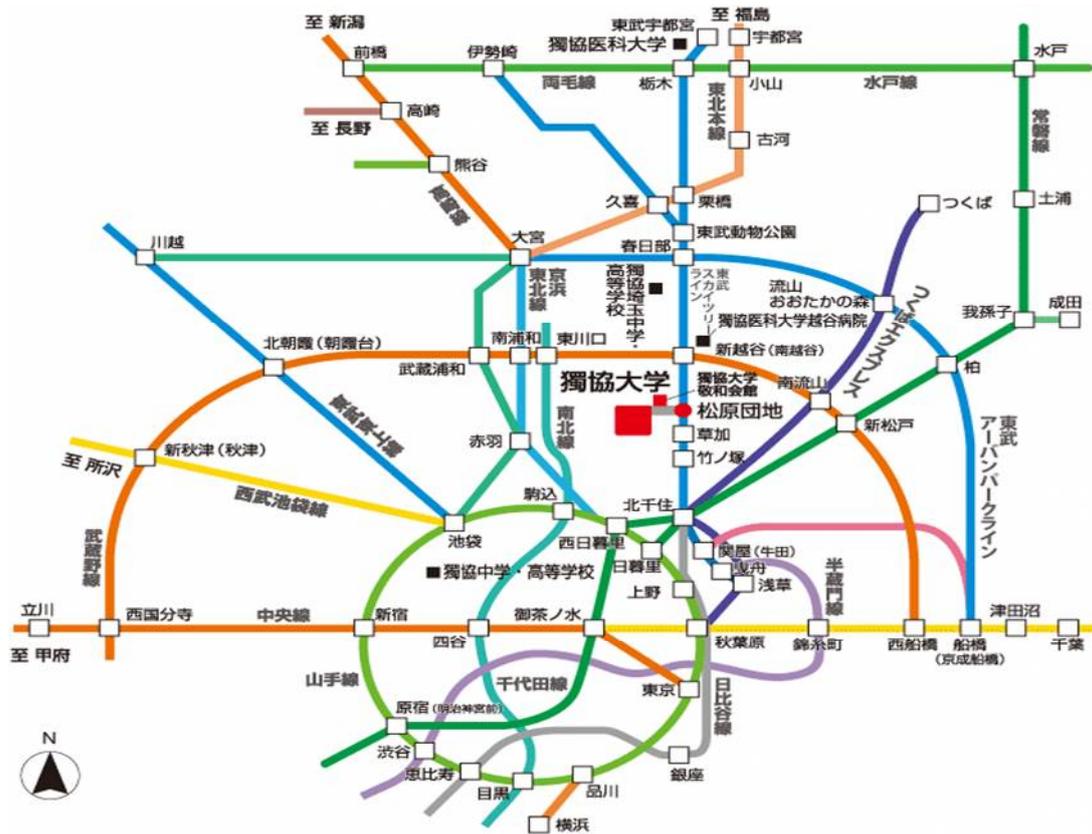
☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：浅野直人(福岡大学)、織 朱實(上智大学)

- 16:10～17:50 パネリスト：①増沢陽子(名古屋大学)
②松本和彦(大阪大学)
③大塚 直(早稲田大学)
④前田定孝(三重大学)
⑤森下 哲(環境省)
⑥藤原 悌(野村興産(株))
⑦崎田裕子(ジャーナリスト)

<獨協大学・アクセスマップ>



※時間は平均所要時間です。乗り換え時間は含みません。※松原団地駅から大学まで徒歩5分



※所要時間は、2012年2月1日現在のダイヤで各駅から松原団地に午前9時に到着する場合の最速の時間（新幹線、特急等の利用は除く）を表示しています。路線や乗換の方法により所要時間は変わりますので、参考としてご覧ください。

◆都心方面から

東京メトロ日比谷直通線・東武線（北千住経由）

「松原団地」駅下車

東京メトロ半蔵門線直通・東武線急行（北千住経由）

「草加」駅で普通に乗換え、「松原団地」駅下車

◆JR 武蔵野線から

JR「南越谷」駅下車、東武線「新越谷」駅から普通に乗換え、「松原団地」駅下車

<会場案内図>



◆学術大会会場

- ◇分科会（午前） ⇒ 東棟 3階・4階
- ◇理事会 ⇒ 天野貞祐記念館 3階
- ◇総会・シンポジウム（午後） ⇒ 天野貞祐記念館 3階
- ◇懇親会 ⇒ 東棟 5階ラウンジ

◇開催校へのお問い合わせは、下記までご連絡をお願いいたします。

獨協大学開催校事務局（一之瀬高博）： jaelp2015@dokkyo.ac.jp